



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日

上場会社名 オーナンバ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5816 URL <http://www.onamba.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木嶋忠敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 宮本敦浩 (TEL) 06-6976-6101  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 2023年9月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	22,539	12.2	1,472	69.0	1,611	57.3	1,119	47.8
2022年12月期第2四半期	20,088	8.5	871	7.6	1,024	7.2	757	△4.6

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 2,094百万円(8.3%) 2022年12月期第2四半期 1,933百万円(△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	91.87	—
2022年12月期第2四半期	62.17	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	37,617	23,231	60.0
2022年12月期	36,874	21,185	55.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 22,571百万円 2022年12月期 20,589百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	8.00	—	16.00	24.00
2023年12月期	—	14.00			
2023年12月期(予想)			—	10.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	3.1	2,300	△9.0	2,300	△21.0	1,700	△20.3	139.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 2 Q	12,558,251株	2022年12月期	12,558,251株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	371,518株	2022年12月期	371,489株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 2 Q	12,186,752株	2022年12月期 2 Q	12,186,813株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 1 当第2四半期における業績全般の動向

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）における当社グループの経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響、原材料価格の高騰、加えてウクライナ情勢の長期化に伴う原油価格や為替相場の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況が続きました。なお、これらの影響は今後も一定期間は継続することが懸念されております。

このような状況の下、当社グループでは、当期を最終年度とする中期経営計画「PROGRESS 2023」における経営基本戦略を着実に推進し、目標達成に向けて各種施策に取り組んでおります。また、新型コロナウイルス感染症への対応につきましても、日本、中国、アメリカなど8ヶ国21社の各拠点において、引き続き従業員の感染リスクの低減と安全確保を図りながら、お客様への供給責任を果たすべく事業活動を実施しております。

当第2四半期連結累計期間は、半導体などの部品供給の改善に加え、グローバルでの生産体制及び供給体制の強化に取り組んだ結果、サプライチェーンが改善されました。さらには自動車・産業機器用製品などの分野において顧客における需要が想定よりも堅調に推移したことで、売上高は前年を上回りました。一方で、上期で受注残の解消が進んだことや、欧米での政策金利引き上げ、また各国では供給過多による顧客での在庫調整の動きも出てきており、景気の回復は今後大幅に遅れる懸念があります。

利益面では、売上高の増加や原価低減活動、さらにはサプライチェーンの改善による物流費の削減や銅価格高騰への対応として、製品価格の改定に継続的に取り組んだ結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年を上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,539百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は1,472百万円（同69.0%増）となり、経常利益は1,611百万円（同57.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,119百万円（同47.8%増）となりました。

#### 2 セグメントの業績

期別 セグメント別	売上高			営業利益		
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
日本	11,511	12,668	10.1	435	828	90.0
欧米	4,880	6,299	29.1	57	230	304.1
アジア (日本を除く)	3,696	3,571	△ 3.4	437	430	△ 1.5
消去	—	—	—	△ 58	△ 16	—
合計	20,088	22,539	12.2	871	1,472	69.0

(注) 増減率につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

##### ①日本

当第2四半期連結累計期間は、半導体などの部品供給の改善に加え、グローバルでの生産体制及び供給体制の強化に取り組んだ結果、サプライチェーンが改善されました。さらには自動車・産業機器用製品などの分野において顧客における需要が想定よりも堅調に推移したことで、売上高は12,668百万円（前年同期比10.1%増）となりました。利益面では、売上高の増加や原価低減活動、さらにはサプライチェーンの改善による物流費の削減、銅価格高騰への対応として、製品価格の改定に継続的に取り組んだ結果、営業利益は828百万円（前年同期比90.0%増）となりました。一方で、上期で受注残の解消が進んだことに加え、顧客における在庫調整の動きも見られ、景気の回復は今後大幅に遅れる懸念があります。

##### ②欧米

当第2四半期連結累計期間は、半導体不足による影響も緩和されつつあることに加え、北米における自動車産業での需要が復調傾向にあることや、欧州での空調用ハーネスの需要が好調に推移したことにより、売上高は6,299百万円（前年同期比29.1%増）となりました。利益面では、売上高の増加に加え、サプライチェーンの改善による物流費の削減や、材料調達コストの増加への対応として、製品価格の改定に継続的に取り組んだ結果、営業利益は230

百万円（前年同期比304.1%増）となりました。一方で、インフレ抑制に伴う政策金利の引き上げ、顧客における在庫調整の動きから、欧米においても景気の回復が今後大幅に遅れる懸念があります。

③アジア（日本を除く）

当第2四半期連結累計期間は、中国市場においてゼロコロナ政策が緩和されたものの、上期で受注残の解消が進んだことに加え、顧客における生産調整などにより、アジアでの売上高は3,571百万円（前年同期比3.4%減）となりました。利益面では、主に売上高の減少に伴い、営業利益は430百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

また、中国市場の低迷の影響、日本・欧米での在庫調整の動きから、アジアにおいても景気の回復が今後大幅に遅れる懸念があります。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債、純資産の状況

<資産>

資産合計は、37,617百万円（前期末比742百万円増）となりました。主に、現金及び預金が792百万円、棚卸資産が422百万円、有形固定資産が606百万円及び投資その他の資産が137百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が1,253百万円減少いたしました。

<負債>

負債合計は、14,385百万円（前期末比1,303百万円減）となりました。主に、長期借入金が516百万円、未払法人税等が232百万円及びその他の流動負債が227百万円増加し、支払手形及び買掛金が605百万円及び短期借入金が2,021百万円減少いたしました。

<純資産>

純資産合計は、23,231百万円（前期末比2,046百万円増）となりました。主に、利益剰余金が1,074百万円及び為替換算調整勘定が771百万円増加いたしました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は5,970百万円となり、前連結会計年度末に比べて792百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,794百万円の収入（前年同期は235百万円の支出）となりました。主に、税金等調整前四半期純利益1,610百万円、減価償却費425百万円、売上債権の減少1,718百万円及び仕入債務の減少933百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、339百万円の支出（前年同期は460百万円の支出）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出328百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,102百万円の支出（前年同期は138百万円の収入）となりました。主に、短期借入金の返済（純額）1,238百万円、長期借入金の調達による収入750百万円及び長期借入金の返済による支出1,337百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年7月28日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,178,303	5,970,990
受取手形、売掛金及び契約資産	12,363,860	11,110,578
商品及び製品	2,873,417	3,172,459
仕掛品	1,322,884	1,087,024
原材料及び貯蔵品	4,951,926	5,310,837
その他	772,813	812,268
貸倒引当金	△5,725	△7,620
流動資産合計	27,457,481	27,456,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,103,794	2,315,839
機械装置及び運搬具（純額）	1,669,061	1,740,210
土地	1,919,115	2,070,477
建設仮勘定	49,194	38,107
その他（純額）	436,044	619,031
有形固定資産合計	6,177,210	6,783,667
無形固定資産	491,255	490,557
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,812,835	2,950,599
貸倒引当金	△64,097	△64,025
投資その他の資産合計	2,748,737	2,886,573
固定資産合計	9,417,203	10,160,798
資産合計	36,874,684	37,617,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,818,511	7,213,360
短期借入金	3,562,425	1,541,075
未払法人税等	171,698	404,333
賞与引当金	227,053	251,089
役員賞与引当金	38,760	24,000
製品改修引当金	3,418	3,418
その他	1,695,972	1,923,145
流動負債合計	13,517,839	11,360,421
固定負債		
長期借入金	944,309	1,461,191
繰延税金負債	419,840	502,835
退職給付に係る負債	524,502	568,188
その他	282,720	493,136
固定負債合計	2,171,372	3,025,352
負債合計	15,689,212	14,385,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	1,936,551	1,936,551
利益剰余金	13,740,088	14,814,309
自己株式	△160,472	△160,498
株主資本合計	17,839,226	18,913,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704,319	831,508
為替換算調整勘定	2,068,037	2,839,142
退職給付に係る調整累計額	△21,863	△13,017
その他の包括利益累計額合計	2,750,492	3,657,633
非支配株主持分	595,753	660,505
純資産合計	21,185,472	23,231,561
負債純資産合計	36,874,684	37,617,335

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	20,088,973	22,539,711
売上原価	16,491,977	18,121,986
売上総利益	3,596,996	4,417,724
販売費及び一般管理費	2,725,447	2,945,007
営業利益	871,549	1,472,716
営業外収益		
受取利息	15,237	18,942
受取配当金	13,791	16,506
持分法による投資利益	-	29,650
為替差益	99,912	71,129
補助金収入	25,887	-
助成金収入	8,541	8,061
その他	30,847	65,358
営業外収益合計	194,217	209,648
営業外費用		
支払利息	26,370	43,567
持分法による投資損失	6,872	-
その他	8,335	27,576
営業外費用合計	41,579	71,144
経常利益	1,024,187	1,611,220
特別利益		
固定資産売却益	1,643	339
特別利益合計	1,643	339
特別損失		
固定資産処分損	2,985	822
感染症関連損失	39,040	-
特別損失合計	42,026	822
税金等調整前四半期純利益	983,804	1,610,737
法人税、住民税及び事業税	189,993	505,176
法人税等調整額	△8,934	△32,693
法人税等合計	181,058	472,483
四半期純利益	802,746	1,138,254
非支配株主に帰属する四半期純利益	45,048	18,655
親会社株主に帰属する四半期純利益	757,697	1,119,599



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	802,746	1,138,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△323,894	127,189
繰延ヘッジ損益	16,706	-
為替換算調整勘定	1,450,987	819,922
退職給付に係る調整額	△13,092	8,846
その他の包括利益合計	1,130,707	955,957
四半期包括利益	1,933,453	2,094,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,798,002	2,026,739
非支配株主に係る四半期包括利益	135,451	67,472

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	983,804	1,610,737
減価償却費	424,730	425,070
持分法による投資損益(△は益)	6,872	△29,650
固定資産売却損益(△は益)	△1,643	△339
固定資産処分損益(△は益)	2,985	822
補助金収入	△25,887	-
助成金収入	△8,541	△8,061
感染症関連損失	39,040	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,120	128
賞与引当金の増減額(△は減少)	△38,728	13,856
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,631	24,078
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9,500	△14,760
受取利息及び受取配当金	△29,029	△35,448
支払利息	26,370	43,567
売上債権の増減額(△は増加)	△528,212	1,718,019
棚卸資産の増減額(△は増加)	△954,182	169,765
仕入債務の増減額(△は減少)	△78,484	△933,870
その他	△101,004	100,654
小計	△279,920	3,084,571
利息及び配当金の受取額	29,121	35,448
利息の支払額	△26,501	△44,181
補助金の受取額	25,887	-
助成金の受取額	8,541	8,061
感染症関連損失の支払額	△34,906	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	42,109	△289,423
営業活動によるキャッシュ・フロー	△235,669	2,794,475
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△421,884	△328,182
有形固定資産の売却による収入	1,887	2,926
投資有価証券の取得による支出	△4	△12
その他	△40,105	△14,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460,106	△339,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	227,461	△1,238,988
長期借入れによる収入	284,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△199,317	△1,337,735
自己株式の取得による支出	-	△25
配当金の支払額	△97,494	△194,988
非支配株主への配当金の支払額	-	△14,061
その他	△76,348	△67,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,301	△2,102,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	382,229	219,830
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,245	571,554
現金及び現金同等物の期首残高	4,370,401	5,178,303
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	221,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,195,155	5,970,990

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社ブライトンについて、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	11,099,018	4,880,794	3,696,982	19,676,796
一定の期間にわたり移転される財	412,177	—	—	412,177
顧客との契約から生じる収益	11,511,195	4,880,794	3,696,982	20,088,973
外部顧客への売上高	11,511,195	4,880,794	3,696,982	20,088,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,733,522	56,798	4,072,460	6,862,782
合計	14,244,718	4,937,593	7,769,443	26,951,755
セグメント利益	435,824	57,067	437,582	930,475

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	930,475
セグメント間取引消去	△58,926
四半期連結損益計算書の営業利益	871,549

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	12,359,233	6,299,488	3,571,740	22,230,462
一定の期間にわたり移転される財	309,249	—	—	309,249
顧客との契約から生じる収益	12,668,482	6,299,488	3,571,740	22,539,711
外部顧客への売上高	12,668,482	6,299,488	3,571,740	22,539,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,377,202	18,481	3,968,488	6,364,172
合計	15,045,685	6,317,969	7,540,228	28,903,883
セグメント利益	828,001	230,615	430,985	1,489,602

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,489,602
セグメント間取引消去	△16,885
四半期連結損益計算書の営業利益	1,472,716

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。